



他、多数受賞

英雄でも戦士でもない。真の侍たちの姿がここにある。

# たたら侍

EXILE HIRO 初プロデュース、錦織良成監督（『渾身 KON-SHIN』『RAILWAYS 49歳で電車の運転士になった男の物語』）の最新作となる『たたら侍』（たたらざむらい）は、昨年開催されたカナダ・モントリオール世界映画祭で最優秀芸術賞を受賞し、本年もアメリカ・バイユー映画祭ではグランプリ、主演男優賞を受賞、その他、インド、ニュージーランドなどの映画祭で多数の受賞を果たし、今後も世界各地の映画祭で受賞が期待される注目作。

主演を務め渾身の演技を見せる劇団EXILEの青柳翔、その他、津川雅彦、奈良岡朋子、山本圭、高橋長英、笹野高史、品川徹といった日本映画の原点を知る名優たち、宮崎美子、甲本雅裕、豊原功補、でんでんなどのいぶし銀のバイプレーヤー勢が脇を固め、それらのベテラン俳優陣を相手に引けを取らず、AKIRA、小林直己、田畑智子、石井杏奈らが、存在感ある演技を見せている。

## すべてから逃げた僕に残された宿命―

自然と共に生き、技をつなぎ、おのれの宿命を受けとめながら、ありのままに生きていく。

“本当の強さとは何か”を改めて問いかけ、本物の侍像を描いた時代劇。

戦国末期、1000年錆びない鉄を作る幻の村があると噂されていた。出雲の山奥にあるその「たたら村」では、古来より門外不出の高度な鉄作り“たたら吹き”によって出鐵鋼（いづものはがね）と呼ばれる貴重な鋼が作られていた。天下無双の名刀を作り出すその鋼を求め、刀匠ばかりでなく諸国の大名に取り入る商人たちも躍起になっていた。“たたら吹き”を取り仕切る村下（むらげ）の息子、伍介は、一子相伝の技を受け継ぐ宿命だったが、幼い頃に鋼を狙った山賊に村が襲われて以来、強くなって村を守りたいと思うようになっていった。

諸国の大名が鉄砲の数を競う中、村に鋼を求めて訪れた商人の惣兵衛から、農民でも侍になれる時代がきたことを知らされた伍介は、「村を出て侍になりたい」と村の掟に背いて旅に出る。しかし、そこには厳しい現実だけが待っていた。

原作・脚本・監督：錦織良成、エグゼクティブ・プロデューサー：EXILE HIRO

出演：青柳翔／小林直己 田畑智子 石井杏奈 山本圭 高橋長英 甲本雅裕 宮崎美子 豊原功補 早乙女太一／AKIRA

笹野高史 中村嘉葎雄 でんでん 佐野史郎 橋爪遼 菅田俊 音尾琢真 品川徹／奈良岡朋子／津川雅彦

主題歌：「天音（アマオト）」（rhythm zone）作詞：EXILE ATSUSHI 作曲・編曲：久石譲 歌：EXILE ATSUSHI

製作：「たたら侍」製作委員会（LDH JAPAN、GMO インターネットグループ、エイバックス・ピクチャーズ、ローソン、青山商事、AOI Pro.、朝日新聞） 配給：LDH PICTURES ©2017「たたら侍」製作委員会 <https://tatara-samurai.jp/>

5月20日(土)より新宿バルト9、TOHO シネマズ新宿ほか全国公開